

ご当地グルメ

「猪苗代そば餃子」が お店でも食べられる ようになりました

4月から、町のご当地グルメ「猪苗代そば餃子」が町内の4店舗で食べられるようになりました。

「猪苗代そば餃子」は町のご当地グルメとして町商工会青年部が試行錯誤を重ね、約4年前に開発したもので、具に町の特産品である「そば」が麺状のまま入っているのが大きな特徴です。ほかに具材として会津地鶏を使うなど、地元産の食材にこ

だわっています。

今までは磐梯まつりなどのイベント時のみの提供でしたが、より多くの人に食べてもらおうと、店舗での提供にこぎつけました。

販売開始日の4月1日には、野口英世記念館のリニューアルオープン記念イベントで演奏した、いなわしろ天鏡太鼓の皆さんが、ドライブイン磐尚での昼食時にそば餃子を注文。「外はパリッと、中はもちもちしていておいしい」「お酒のつまみにいいかも」などと好評でした。

「猪苗代そば餃子」は下記の店舗で食べられます(販売価格はいずれも2本で500円)。

- ・ドライブイン磐尚 ☎(65) 2851
- ・酒家 Den ☎(62) 3665
- ・手打ちそば処こがね ☎(62) 2207
- ・小西食堂 ☎(64) 3128



ドライブイン磐尚
二瓶 尚之さん

観光客や町民の皆さんなど、多くの皆さんにそば餃子を食べてもらうため、町商工会青年部のグルメ委員会に所属するメンバーの店舗で提供することにしました。

今回提供を始めた4店舗では、付け合わせを変えるなどして、それぞれの店の個性を出しています。

最終目標は町内のどこでも食べられることなので、今後提供できる店を増やしていけるように努力していきたいですね。



「めっちゃおいしい」とそば餃子を頬張る、いなわしろ天鏡太鼓の皆さん

猪苗代グルメアイディア 入賞作品決定

町商工会青年部ではこのほど、町内各小学校の4～6年生を対象に、町のご当地グルメのアイディアを募集しました。

猪苗代、千里、長瀬、吾妻の4小学校から約60点の応募があり、同部では各校の1位と2位の児童を表彰し、受賞者に記念品を贈呈しました。

今後は、「猪苗代そば餃子」に続くご当地グルメの商品化を目指して、同部のグルメ委員会が中心となり、入賞作品のアイディアをもとに作ったメニューを磐梯まつりなどのイベントで販売する予定です。

入賞者は下記のとおりです(敬称略。学年は3月20日現在)。

- ▶猪苗代小 ①鈴木七海(5年)「ケーキのような!! ブルーベリーサンド」 ②東條なな子(5年)「ほうれんそうのお好み焼き」
- ▶千里小 ①佐藤渚(5年)「そばすいとん」 ②村上拓慎(5年)「そば粉のドーナツ」
- ▶長瀬小 ①長嶺歩美(5年)「そばかりんとう」 ②半澤勝将(4年)「6種類しみもち」
- ▶吾妻小 ①福地晶(6年)「猪苗代風お好み焼き」 ②大桃由萌(6年)「野菜たっぷりモチモチもち」



大好きなパパ、ママと一緒に笑顔で「ハイ、チーズ」

奏介くんの名前には、「他人を助け、周りの人と良いハーモニーを奏でてほしい」というパパとママの願いが込められています。

岩井 奏介^{そうすけ}くん

平成26年5月生まれ

～大原^{しょういちろう} 正一郎さん・智美^{ともみ}さん夫婦の長男

つかまり立ちをしながら、部屋の中を元気に歩き回る奏介くん。「できることが日に日に増えて、最近では、つかまり立ちの状態からおすわりができるようになりました」とママの智美さんは笑顔で話します。

ペンションを営む岩井さん夫婦。人見知りせず、愛嬌たっぷりの奏介くんはペンションでも人気者。愛くるしい笑顔でお客さんの心を癒します。「声を掛けてくれたり、だっこしてくれたりとお客さまもかわいがってくれるんです」と智美さん。

「猪苗代は四季それぞれに魅力があつてとてもいいところ。この子には、この土地に誇りを持って過ごしてほしいですね」とパパの正一郎さんは奏介くんを優しく見つめながら話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62) 2111

スクール
トピックス

長瀬小が全国最優秀賞

日本電気協会表彰



報告に訪れた江尻校長(右から2人目)と栗田教諭(右)



いわき明星大から講師を招き実施した授業の様子(昨年7月)

長瀬小学校はこのほど、日本電気協会の第9回エネルギー教育賞の小学校の部で最優秀賞を受賞しました。

同校は、平成24年度にエネルギー環境教育をスタート。平成25、26年度には県の再生可能エネルギー教育推進モデル校に選定され、岩手大、いわき明星大、北陸電力や町などと産学官民の協働体制を築き、連携を図りながら全学年で学習を進めてきました。今回の受賞は、この3年間の取り組みが高い評価を受けたものです。

3月18日には、同校の江尻陽子校長(当時)と栗田幸子教諭が町役場を訪れ、前後公町長に報告。江尻校長は「取り組んでいく中で、子どもたちは町の将来について真剣に考え、やがては町の将来を担うという意識が芽生えてきた。皆さんのご協力のおかげで受賞できました」と感謝を述べました。

前後町長は「町としても大いに価値のある賞。今後も充実した教育に取り組んでほしい」と榮譽をたたえました。